

## メッセージアウトライン

### ローマ 1：1～7 「このキリストによって」

今日の箇所はパウロからローマのクリスチャンたちへのあいさつのことばである。パウロはここにおいても単なるあいさつにとどまらず、福音の重要性、神の素晴らしさを織り込んでいる。

[1]パウロの自己紹介。①「神の福音のために選び分けられ」…人に選ばれたのでも自分からそうなったのでもなく、神によって福音を宣べ伝えるために選ばれた。②「使徒として召された」…使徒とは「遣わされた者」の意。イエスの12弟子以外にパウロも権威ある使徒として神によって召されたのである。③「キリスト・イエスのしもべ」…しもべとは原語では奴隷という意味もある。彼はそのように忠実に主に従うのである。

[2]この福音はパウロが勝手に考え出したものではなく、旧約聖書にあらかじめ預言されていたものであり、その約束の成就としての福音である。

[3-4]この福音は「御子」イエス・キリストに関するものである。「肉によれば」…人間としての歴史的誕生の由来に置いてはという意味。「聖い御霊によれば」…これは「肉」に対応することばで、「霊の本質においては」と言う意味。イエスは死者の中からの復活という歴史的事実によって公に神の御子として示された方なのである。

[5]このキリストによってパウロは恵みと使徒の務めを受けた。この「恵み」とは神の過分の御恩寵のことであり、救われる価値のない者が救われ、使徒と呼ばれる価値のない者があえて使徒として召された恵みである。パウロの使徒としての務めの目的は「御名のためにあらゆる国の人々の中に信仰の従順をもたらす」ためであった。「信仰の従順」とは信仰から必然的に生まれてくる主イエス・キリストに対する完全な従順のこと。

パウロが使徒の務めを受けたのは、あらゆる国の人々に福音を伝えることによって、あらゆる国の人々が神の御名を信じ、神のみこころに従った生き方をさせるためであった。

[6]「あなたがたも、それらの人々の中であって、イエス・キリストによって召された人々です」パウロだけでなくローマのクリスチャンたちもイエス・キリストによって召された人々である。同じ神を父とし、同じ救い主イエス・キリストによって救われた者であり、主にある兄弟姉妹なのである。主にある者はこのように親しい関係を持つことができる。

[7]パウロはローマのクリスチャンたちを「神に愛されている人々」、「召された聖徒たち」と美しいことばで呼びかける。「聖徒」とは何の罪も咎もない聖人というような意味ではなく、「神によってこの世から選び分けられた人々」という意味。

ローマのクリスチャンだけではなくすべてのクリスチャンは神の絶対的な愛と主権によって選び分けられた者なのである。

パウロはあいさつの最後に彼らの上に「恵みと平安」を祈り求めるが、その根源は彼自身ではなく「父なる神と主イエス・キリスト」であることをはっきりと自覚している。パウロはキリストによって神の福音のために選び分けられ、使徒として召された。ローマ人たちもまたキリストによって聖徒として召された。私たちも神のすばらしい愛とイエス・キリストの救いによってこの世から選び出された者として、パウロと同じ思いをもって、この地上で主からゆだねられた務めを果たしていきたい。